



# 八尾市 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策

令和3年4月15日（木）

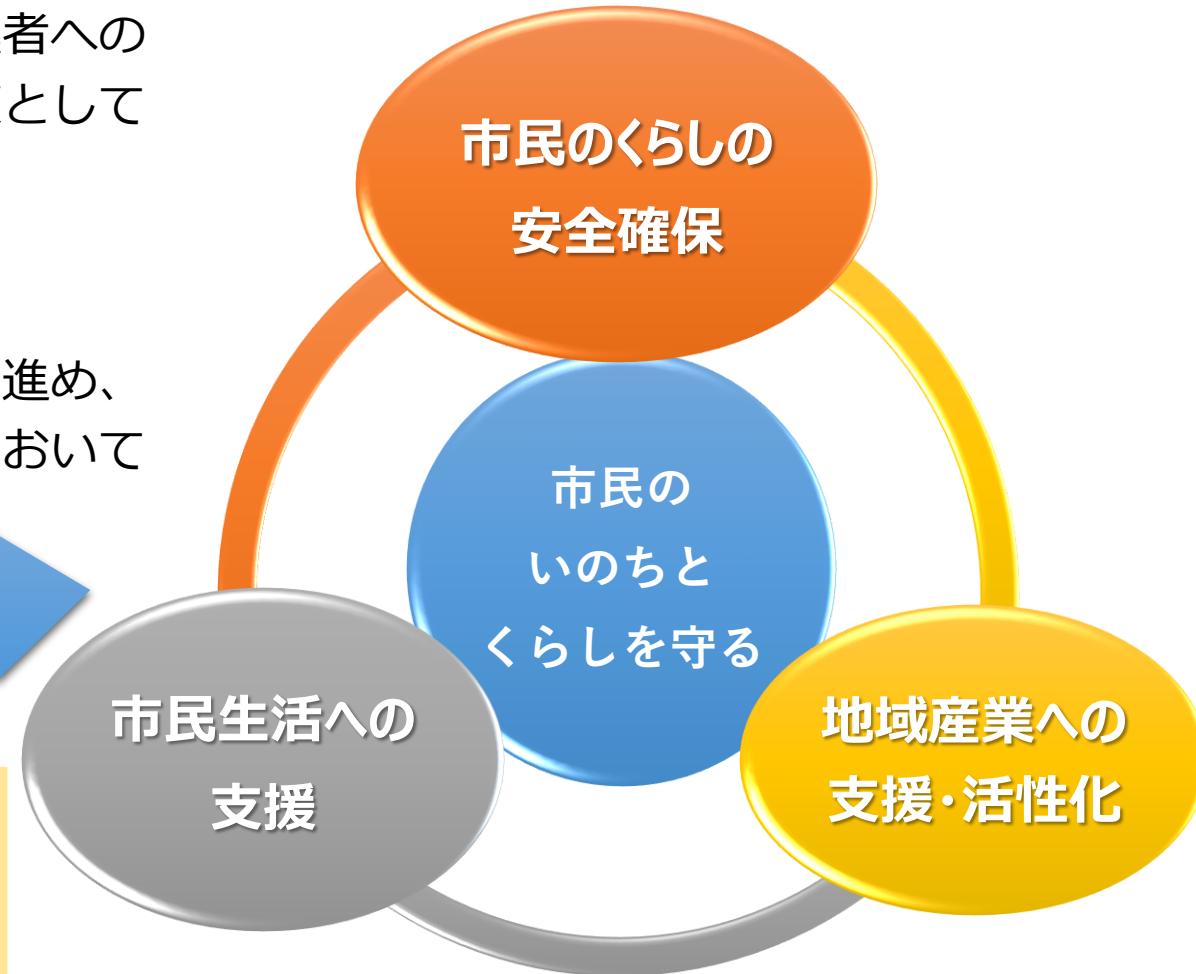
## 八尾市緊急対策の3つの柱

これまでも国・大阪府と歩調を合わせつつ、市民・市内事業者への経済的支援などを図ってきており、今後も八尾市の緊急対策として

- ・「市民のくらしの安全確保」
- ・「市民生活への支援」
- ・「地域産業への支援・活性化」

の「3つの柱」のもと、各種の緊急対策について取り組みを進め、**新型コロナウイルスとの共生が求められる**これからの社会において八尾市民のいのちとくらしを守ります。

「3つの柱」に基づく各取り組みを確実に実施するため、財源確保の取り組みを並行して実施します。



# 八尾市 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策（補正予算額）

新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、八尾市民のいのちと暮らしを守るため、国の地方創生臨時交付金等を活用し、市民生活の安定と社会経済活動の活性化を推進  
緊急対策に必要な補正予算案を4月12日開催の市議会臨時会に提出

## 緊急対策にかかる補正予算案

### ◎ 補正予算案 10億8399万4千円

※子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）

上記の補正予算案とは別に、3億2486万3千円を、4月2日専決処分済。  
4月末日途に支給を開始予定

※令和3年4月臨時会日程

12日 本会議 14～20日 予算決算常任委員会 21日 本会議

八尾市 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策  
主な取り組み



# 新型コロナに負けるな赤ちゃん応援給付金事業

新生児を抱える世帯を支援するために本市独自策として行ってきた新生児一人あたり10万円の応援給付金の対象期間を令和4年3月31日まで延長



## 事業概要

本市独自策として国の特別定額給付金の基準日（令和2年4月27日）を過ぎて産まれたため対象外となった4月28日から令和3年3月31日に産まれた新生児1人当たり10万円を支給していた応援給付金について、依然として続くコロナ禍のなか、不安やストレスを抱えつつ、感染症予防対策を行いながら、妊娠期を過ごし出産した子育て世帯を引き続き支援するため、応援給付金の対象期間を令和4年3月31日まで延長します。

## 関連予算

2億637万8千円

## 担当課

人権ふれあい部市民課  
072-924-3864



## コロナ禍において就職を希望する市民を雇用した事業所への支援及びハローワークとの連携による面接会等の実施



### 事業概要

新たな雇用創出と定着促進を図るために、求職中の市民を3か月以上雇用した事業所に対し、支払った賃金の2分の1（正規雇用40万円、非正規雇用20万円を上限）を支給します。また、コロナ禍での就労を支援するために、ハローワークと連携し、就職氷河期世代を対象とした面接会や子育て世代などに向けた総合的な支援を実施します。

### 関連予算

1億5399万1千円

### 担当課

魅力創造部労働支援課  
072-924-3860



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、経済的に厳しい世帯の高校生等へ自己の教養を高める活動を支援

## 事業概要

経済的に厳しい世帯の高校生等が、文化芸術・スポーツ等の自己の教養を高める活動を通し、コロナ禍においても心身ともに前向きに学習に取り組めるよう、八尾市奨学金を受給する高校生等に一人3万円の支援金を支給します。

## 関連予算

**1050万円**

## 担当課

教育委員会事務局 学務給食課  
072-924-3872



# スマホ等を活用した高齢者健康づくりの推進

高齢者の心身への影響やスマホ等の活用意識などの実態調査を踏まえ、スマホ等を活用した情報提供やフレイル予防の取り組みを進めることにより、高齢者の健康寿命の延伸及び自立支援・重度化防止を推進

※フレイルとは・・・加齢とともに、心身の活力(身体的機能・精神的機能・社会とのつながり等)が低下した状態。

## 事業概要

コロナ禍における高齢者の心身への影響やスマホ等の活用意識などを調査し、高齢者が円滑に新しい生活様式に順応していくことのできる環境を整備します。高齢者に対するICT技術の活用を促すことにより、スマホ等による情報提供やフレイル予防、地域の高齢者を対象としたオンライン講座や介護予防教室、日常生活のモニタリング、相談、市及び高齢者あんしんセンターからの情報発信など、新しい生活様式に対応したフレイル予防に取り組み、高齢者の健康寿命を延ばすとともに自立支援・重度化防止を推進します。

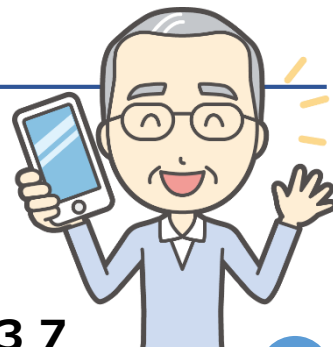
## 関連予算

1800万円

## 担当課

健康福祉部高齢介護課

072-924-3837







## 高齢者施設等の施設内クラスター防止対策の強化

- ・市内の感染者が急拡大した場合に、高齢者施設等の従事者への集中的検査を速やかに実施可能とする体制を確保
- ・高齢者施設等「スマホ検査センター」を活用し、検査対象施設の拡大運用を継続
- ・陽性患者が判明した施設には、全数検査などの定期的なフォローアップ検査を実施

### 事業概要

- ・八尾市内の感染者が急激に拡大した場合に、令和3年2～3月に実施した高齢者施設等への集中的検査と同等の検査を実施します。高齢者入所施設・障がい者入所施設の従事者を対象とした検査を行い、陽性者を早期に発見することで、施設内クラスターの防止につなげます。
- ・令和3年3月より大阪府保健所管轄エリアにおいて、障がい者入所施設や児童養護施設等へも対象が拡大された高齢者施設等「スマホ検査センター」の活用を、八尾市保健所管内においても引き続き実施します。
- ・陽性患者が判明した施設には、全数検査（初回）を実施したのち、複数回検査を実施し、最終の陽性確定日以降の検査において2回連続で全員陰性が確認できるまでフォローアップ検査を実施します。

### 関連予算

## 集中検査体制確保分 4796万3千円

※スマホ検査センターの運用やフォローアップ検査については、令和3年度当初及び第1号補正予算にて対応

担当課

健康福祉部保健予防課  
072-994-6644



新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、新たな事業に挑戦する事業者を支援

## 事業概要

「意欲ある事業者経営・技術支援補助金」において、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者を対象に、新製品開発や新事業展開(上限250万円)、BCP策定(上限20万円)、自社PR動画作成(上限10万円)などの補助メニューを拡充し、事業者の経営・技術革新を支援します。

## 関連予算

1億1500万円

## 担当課

魅力創造部産業政策課  
072-924-9356



- ・計画的・戦略的にキャッシュレス化を含むデジタル化等の「新しい生活様式」の実践を行う市内の商店街や小売市場などの商業団体への支援
- ・キャッシュレス決済の利用者に対する市独自のポイント還元キャンペーンを実施し、地域商業の活性化を推進

## 事業概要

- ・コロナ禍での地域商業活性化のため、感染防止対策に向けたキャッシュレス決済の推進や導入、複数店舗による共同のテイクアウト・デリバリーの取り組みなど、計画的・戦略的に「新しい生活様式」の実践を行う、市内の商店街や小売市場などの商業団体に対し、200万円を上限とする補助金を支給します。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、「新しい生活様式」を更に推進するため、市内でのキャッシュレス決済の利用者に対し、市独自のポイント還元キャンペーンを実施することによって、市内での消費喚起を促進し地域商業の活性化を図ります。

## 関連予算

商業団体支援策	2000万円
ポイント還元キャンペーン	4億5000万円

担当課

魅力創造部産業政策課  
072-924-9356





## その他の取り組み

### ■ コロナ禍において不安や困難を抱える女性への支援

- コロナ禍において不安や困難を抱える女性に対し、八尾市男女共同参画センター「すみれ」の相談窓口等の周知を行い、関係課との連携により必要な支援につなげるとともに、社会課題にもなっている「生理の貧困」への対応として生理用品を無料で配付。

担当課：人権ふれあい部 人権政策課  
072-924-3830

### ■ 証明書交付窓口混雑緩和対策

- 証明書発行窓口の混雑緩和と証明書のコンビニ交付のさらなる普及啓発のため、マルチコピー機を導入。

担当課：人権ふれあい部 市民課  
072-924-3864

### ■ 高齢者や障がい者の在宅サービス等継続支援

- 身体介護等が必要な高齢者や障がい者が、同居の家族が陽性者となった場合などでも、引き続き在宅での介護等を受けられるよう、専任職員の配置などの感染対策をとることにより訪問介護サービス等を提供した事業所に対し、協力金を支給。

担当課：健康福祉部 高齢介護課／健康福祉部 障がい福祉課  
072-924-3973                      072-924-3838



## その他の取り組み

### ■地域子育て支援センターによる在宅子育て支援の強化

- コロナ禍での育児不安やストレス等を抱える乳幼児の在宅子育て世帯への支援として、訪問による支援の実施に向けた体制を整備し、双方向型のオンライン交流会を開催。

担当課：こども若者部 こども総合支援課  
072-924-3954

### ■放課後児童室学童保育システムの充実

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施する家庭保育の協力依頼に基づく保育料の日割り計算を効率化するため、児童の入退室を管理し、保育料算定に反映できるよう、学童保育システムを充実。

担当課：こども若者部 こども施設運営課  
072-992-2350

### ■動画配信による情報発信環境の整備

- 新しい生活様式への対応として、動画配信による情報提供等を実施するための環境を整備。

担当課：政策企画部 広報・公民連携課  
072-924-3811



## その他の取り組み

### ■地域公共交通（バス・タクシー）の支援

- 公共交通利用促進の取り組みや、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施する地域公共交通事業者を支援。

担当課：都市整備部 都市交通課  
072-924-3856

# 新型コロナウイルス感染症対策 ワクチン接種の本市における状況

担当課

新型コロナウイルスワクチン接種事業実施プロジェクトチーム  
072-993-7500

# これまでの実績 これからの予定

## ■実施体制

- 1月8日に「新型コロナウイルスワクチン接種事業実施プロジェクトチーム」を設置。当初職員6名体制から、随時職員体制を強化し、現在、職員12名体制。
- コールセンターを3月1日開設。  
☎0570-008-633

## ■接種会場（4月8日現在）

- 「個別接種」と「集団接種」の2通り。  
個別接種・・・98か所 ※状況により増減します  
集団接種・・・2か所

## ■本市へのワクチン供給

- 4月5日の週 125回分 4月12日の週 555回分  
4月19日以降 680回分（2回目分）
- 供給を受けたワクチンは4月12日より高齢者施設入所者を対象に接種を開始した。

## ■集団接種訓練

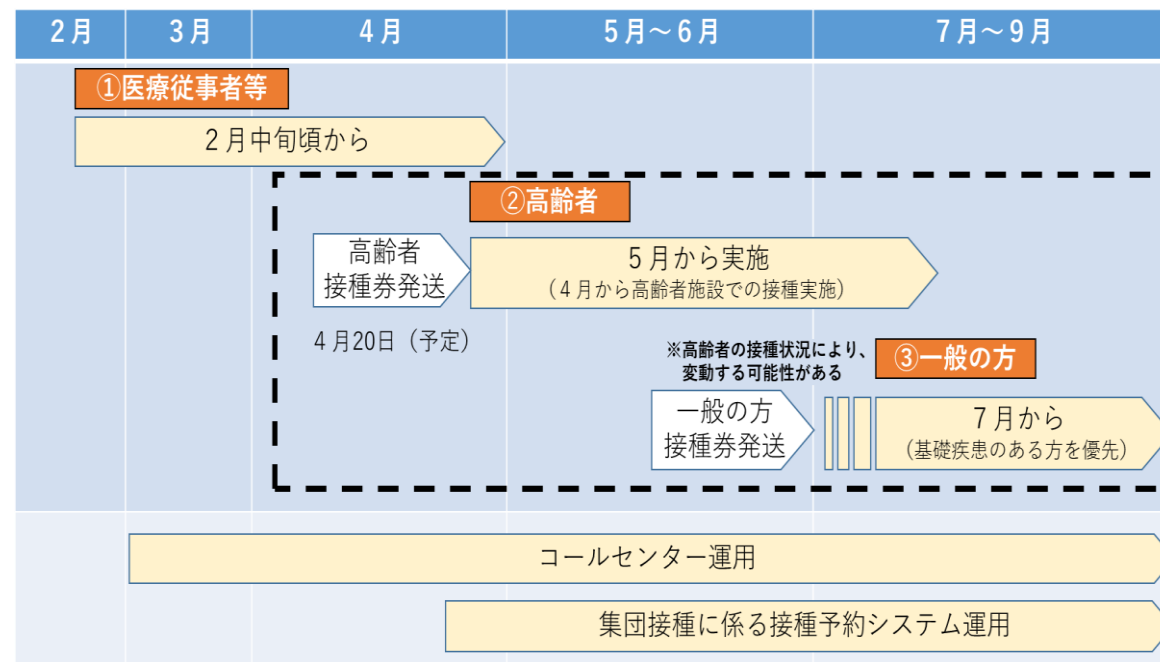
- 3月25日集団接種会場の八尾市生涯学習センターで実施。八尾市医師会・八尾市女性団体連合会・八尾市高齢クラブ連合会などの協力のもと、本番を想定して一連の流れを確認。

## ■接種対象者数

- 約22万人（16歳以上）  
約7.8万人（65歳以上） 約14.2万人（16～64歳）

## ■スケジュール

- 65歳以上の高齢者へ接種券を順次郵送。  
4月20日より75歳以上から郵送予定
- 高齢者への接種は5月中に開始予定。  
（ワクチンの供給状況により変更の可能性あり）







## 接種会場へ高齢者の移動手段を支援します！

接種を希望する市民を誰一人取り残さず、高齢者が安心してワクチンを接種できるよう、高齢者の状況に応じ、接種会場への移動手段を確保

- ① 集団接種会場への臨時バスの運行
- ② 要介護認定者へのタクシーチケットの配布
- ③ 要介護者で付き添いが必要な場合の移送支援